

L P ガス原料費調整制度について

酒田天然ガス株式会社

LPG(液化石油ガス)の輸入価格は、原油価格や為替レートの動きによって変動します。
「原料費調整制度」は原料価格変動に応じて、毎月のガス料金の単位料金（1m³あたりの単価）を調整する制度です。

一般ガス料金の算定方法
一般ガス料金＝基本料金＋単位料金×ガス使用量＋消費税
＊単位料金＝基準単位料金±調整単価

一般ガス料金の基本料金及び基準単位料金

		(税別)	
適用区分(m ³)		基本料金 (円)	基準単位 料金 (円/m ³)
A	0.1 ～ 5.0	2,000	845
B	5.1 ～ 15.0	2,150	815
C	15.1 ～ 25.0	2,750	775
D	25.1 ～ 40.0	4,000	725
E	40.1 ～	5,600	685

調整単価の算定方法

1. 調整単価の算定方法
(1) 原料価格
原料価格は中東産プロパン(70%)と北米産プロパン(30%)の混合価格とする。
算定に用いる原料価格は検針月の前月価格とする

原料価格(円/kg)＝{中東産プロパン(円/kg)×0.7＋北米産プロパン(円/kg)×0.3}
＊小数点以下第二位を四捨五入

原料価格算定諸元

項 目	検針月	
前々月CP	〇〇〇.〇 \$ /MT	
前月CP	〇〇〇.〇 \$ /MT	
合成CP	〇〇〇.〇 \$ /MT	
前々月為替TTS	〇〇〇.〇〇 円/\$	1～末日平均
前月中東フレート	〇〇.〇〇 円/kg	
前々月MB	〇〇〇.〇〇 \$ /t	
前月米国物流経費	〇〇.〇 \$ /t	
前月北米フレート	〇〇.〇〇 円/kg	中東フレート*1.5
中東産プロパン	〇〇〇.〇〇 円/kg	合成CP*TTS+中東フレート
北米産プロパン	〇〇〇.〇〇 円/kg	(MB+米国物流経費)*TTS+北米フレート
原料価格	〇〇〇.〇〇 円/kg	中東産プロパン*70%+北米産プロパン*30%
(MIXコスト)	〇〇〇.〇〇 円/m ³	原料価格(円/kg)/液密度(kg/m ³)

＊C P：中東産L Pガス価格(サウジアラムコ価格)

- *T.T.S：株式会社東京三菱UFJ銀行の公示相場
1日から末日までの平均為替レート
 - *中東フレート：中東長期傭船費(輸入経費)
 - *MB：北米産LPガス価格(モンテルビュー価格)
 - *米国物流経費：ターミナルフィ+通峡料
 - *北米フレート：北米長期傭船費(輸入経費)
 - *液密度(kg/m³)：0.478
- (2) 基準原料価格

2026年6月の原料価格とする

基準原料価格算定諸元

項 目	基準値	算定期間	
当月CP	760.0 \$ /MT	2026年6月	
前月CP	750.0 \$ /MT	2026年5月	
合成CP	755.0 \$ /MT		
為替TTS	159.38 円/\$	2026年5月	1～末日平均
中東フレート	18.00 円/kg	2026年6月	
MB	427.92 \$ /t	2026年5月	
米国物流経費	90.0 \$ /t	2026年6月	
北米フレート	27.00 円/kg	2026年6月	中東フレート*1.5
中東産プロパン	138.30 円/kg	2026年6月	合成CP*TTS+中東フレート
北米産プロパン	109.50 円/kg	2026年6月	(MB+米国物流経費)*TTS+北米フレート
原料価格	129.70 円/kg		中東産プロパン*70%+北米産プロパン*30%
(MIXコスト)	271.30 円/m³		原料価格(円/kg)/液密度(kg/m³)

(3) 調整単価

調整単価(円/m³)=原料価格(円/m³)-基準原料価格(円/m³)
 *小数点以下第二位を四捨五入する